



		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84%	16%	0%	制作しやすいと言っています。もすこし広いといいなと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切か	88%	12%	0%	美術の教員免許を持ち長年教壇に立っていた先生や芸術大学の先生方で構成され曜日ごと魅力的。看護師もいて安心です。
	3	事業所の設備等は手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	71%	29%	0%	送迎時の乗降には注意をしてくださっています。デイでの階段もお願いします。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	95%	5%	0%	学校に登校できなくなった時期にも相談に乗って下さりありがとおうございます
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	93%	7%	0%	工夫のお陰で特に手先が器用になり、発想力が豊かになってきています。
	6	放課後の児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	27%	4%	25%	デイでの作品展はあるが他所との交流があるかはわからない。
保護者への説明等	7	学校の宿題を放課後デイでも取り組んでいるか、また事業所独自の学習プログラムをとり入れているか。	84%	14%	2%	パソコンでアートするプログラムも取り入れてほしい。
	8	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	5%	0%	支給日数や契約日数と支援の内容休んだ時の手続きなど詳しく教えていただいた
	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	86%	14%	0%	月に一回ペースで子どもの様子、レポートが頂けたらありがたいです。
	10	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	83%	17%	2%	個別相談会などがあれば利用したい。特に父親の交流を増やしてほしい。
	11	保護者交流等の開催により保護者同士の連携が支援されているか(イベント等)	62%	29%	9%	保護者同士のコミュニケーションの場があれば利用したい。
	12	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	65%	35%	0%	どのような苦情がありますか？アクシデントがあった場合も差しさわりのない範囲で教えてほしい。
	13	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91%	9%	0%	子どもがパニックやイライラしてしまっても適切に対処してくださっています。
非常時等の対応	14	定期的に通信やホームページ等で活動概要や行事、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	85%	15%	0%	HP や FB、パンフレットや作品展の案内など詳しくわかりました。家族でのイベントもあり感謝しています。
	15	個人情報に十分注意しているか	97%	3%	0%	契約時に確認しています。
	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し保護者に周知・説明されているか	54%	40%	6%	もしもの時の簡易マニュアルを別紙でもらえると家でも貼ってわかりやすい。
	17	非常災害の発生に備え定期的に避難救出その他必要な訓練が行われているか	72%	26%	2%	子どもから避難訓練があったと聞きました。

パンダアカデミーきょうと 本校 独自項目

お子さまの美術活動を通しての教室での過ごし方や、ご帰宅後のご家庭における変化のあらわれ

利用後の子どもの変化	18	美術制作を通して子どもの成長が感じられるか	95%	5%	0%	色の塗り方が少しきちっと塗れるようになった。
	19	言葉づかいに変化はみられるか	49%	40%	11%	言葉で説明できないとき、絵で説明してくれるようになった。小学校に入ってから言葉が増えた。
	20	家での手伝いはすすんでいますか	47%	42%	11%	気がついたら食器の片づけをするようになった。気分次第のところもある。まだすすんではしない。他
	21	学校での意欲につながっているか	38%	40%	22%	学校や外部展における作品展で入賞することが増えてきました。
	22	美術への興味、関心は深まっているか	92%	6%	2%	いつも作品のことを聞くことが楽しみです。
	23	美術を通じた家族の会話は増えたか	90%	8%	2%	制作過程や完成した作品について話し合うのが楽しいです。
	24	美術をきっかけにして他の分野への意欲も高まってきたか	70%	25%	5%	学校を休まなくなり、部活や生徒会にも入りガラリと変わってきました。
満足度	25	子どもは通所を楽しみにしているか	90%	8%	2%	早くいきたいとよく言う。 特に友達がいる曜日を楽しみにしています。いないとちょっと寂しいみたいです
	26	事業所の支援に満足しているか	92%	8%	0%	いつもありがとうございます。 楽しい楽しいと言っています。

2019年2月～3月実施 利用者44名配布 39名回答



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	◎	○		利用者数が多い時は特に通常以上の配慮を心がけ支援にあたってまいります。
	2	職員の配置数は適切であるか	◎	○		送迎時と教室管理の職員数がより適正なバランスとなるよう努めてまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	◎			階段移動では安全確保のため職員が必ず付添うなど手すりやバリアフリーを活かした安全活動にも配慮しております。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	◎	○	職員全員が参加する会議を定期的を設定して利用者のご家族のニーズに沿った充実した運営に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	◎			
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	◎	弊社におきましても外部評価者選出を再検討し定期的な実施に向けて調整して参る所存です。
8	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	◎	○	○	各職員が何の研修に参加し、研修後には職員全体で共有できるように努めて参ります。	
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			美術特化の放課後デイを利用されるおさまや保護者様のご要望に corres pond するべくサービスや指導に努めております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	◎	○	
	11	活動プログラム立案をチームで行っているか	◎	○		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎	○		アートプログラムは曜日別に 絵画 立体 彫刻 臨床美術 染織 建築 デザイン等 工夫した時間割を組んでいます
	13	平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	◎	○		

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎	○		
	15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎	○		日常のミーティング等での議事録活用と職員間の共有、個別対応や集団指導の役割分担などを行っております。
	16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	◎	○		非常勤職員とのミーティングをもっと多く取り入れて参りたいと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎	○		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	◎			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	◎	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	◎		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	◎	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	◎	○		担当主治医：小石医院
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めているか	◎	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	◎	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	◎	○		児童発達支援センターとは適宜連携しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○	◎	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	◎	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	◎	○		

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	◎	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	◎	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	◎	○		
	32	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		◎	○	パンダアカデミーイベントでの保護者交流実績あり

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	◎	○		
	34	定期的にHP 通信や会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	◎	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	◎	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		◎	○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	◎	○	○	中京警察、消防との連携
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	◎			2017, 2018 年ともに実施済
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	◎			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	◎			身体拘束を必要とする利用者はおられません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	◎			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎		○	事業所内で共有に努めていきます。

◎～評価が多かった項目 ○～評価のあった項目 ※ 回答職員8名

(2019年2月～3月実施)